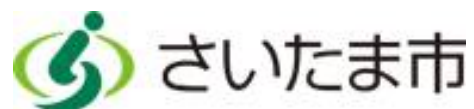




さいたま市の電気自動車 普及施策について

平成27年10月2日
環境未来都市推進課長 高橋伸一郎





プロジェクトの名称 「E-KIZUNA Project」 (イー・キズナ・プロジェクト)

プロジェクトの目的

EV普及拡大の前に立ちほだかる3つの課題の解決による「持続可能な低炭素社会」の実現

3つの課題とは

- ① 1回の充電で走行可能な距離が短い
- ② 車両の価格が高い
- ③ 一般の消費者の認知度が低い

プロジェクトの基本方針

さいたま市を中心としたステークホルダーとの連携により、EVを安心して、快適に使える低炭素社会の実現を目指し、

- ① 充電セーフティネットの構築 (安心感)
- ② 需要創出とインセンティブ付与 (満足感)
- ③ 地域密着型の啓発活動 (親近感)

を基本的な方針として、EV普及拡大の課題解決に取り組む。



E-KIZUNA Project②



平成21年12月22日
富士重工業



平成21年11月5日 日産自動車



平成22年1月26日
三菱自動車工業



メーカー等
6社との協定



平成23年5月23日
本田技研工業



平成23年10月27日 トヨタ自動車



平成23年12月20日
イオンリテール

EV・PHV、充電器補助実績



【電気自動車(EV)・プラグインハイブリッド(PHV)】

台数: 435 台 (EV:286台、PHV:149台)

金額: 49,630 千円

(H22~H26実績)



【急速・普通充電器】

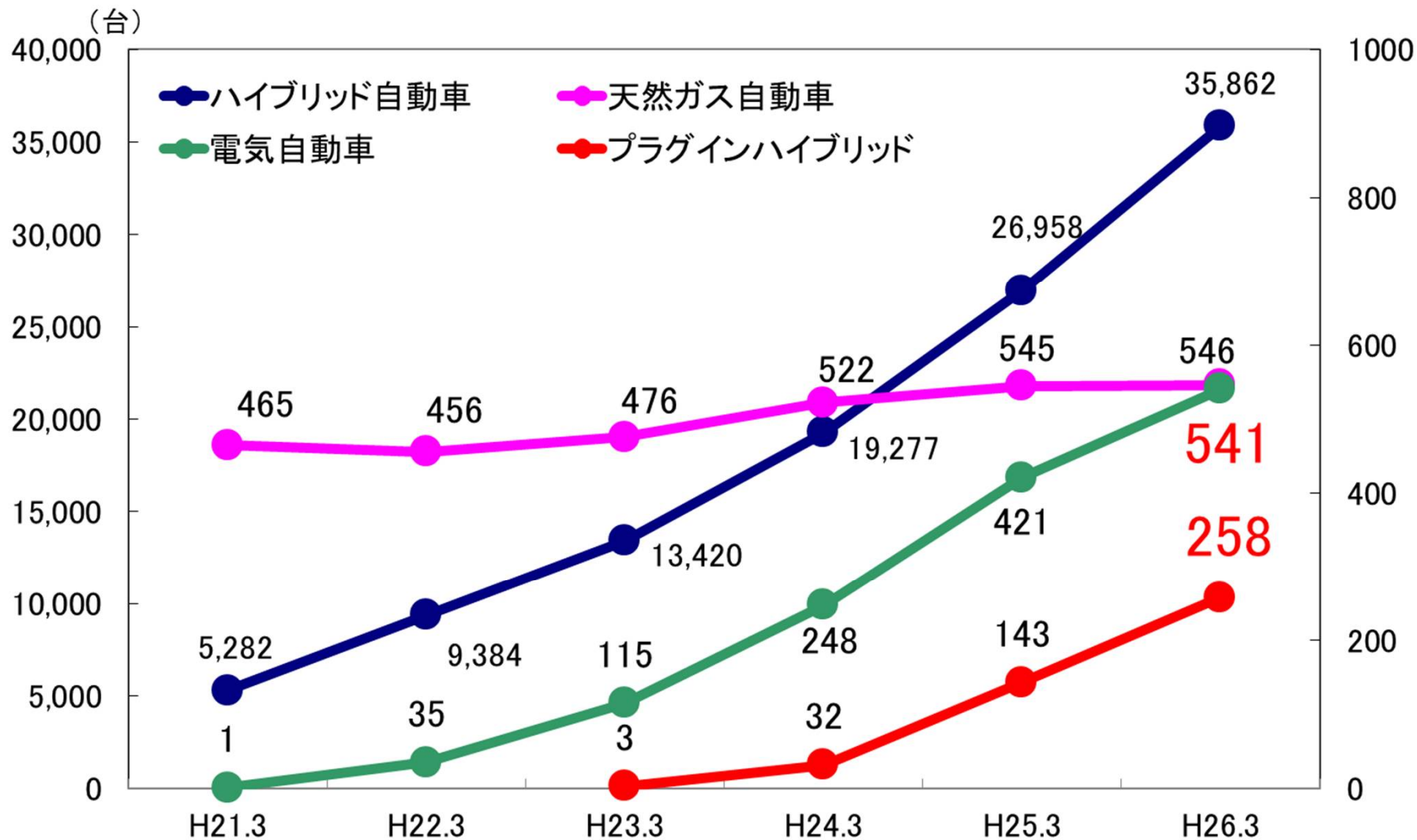
急速充電器:6基 普通充電器:14基

金額: 6,535 千円

(H22~H25実績)

さいたま市内のEV普及状況

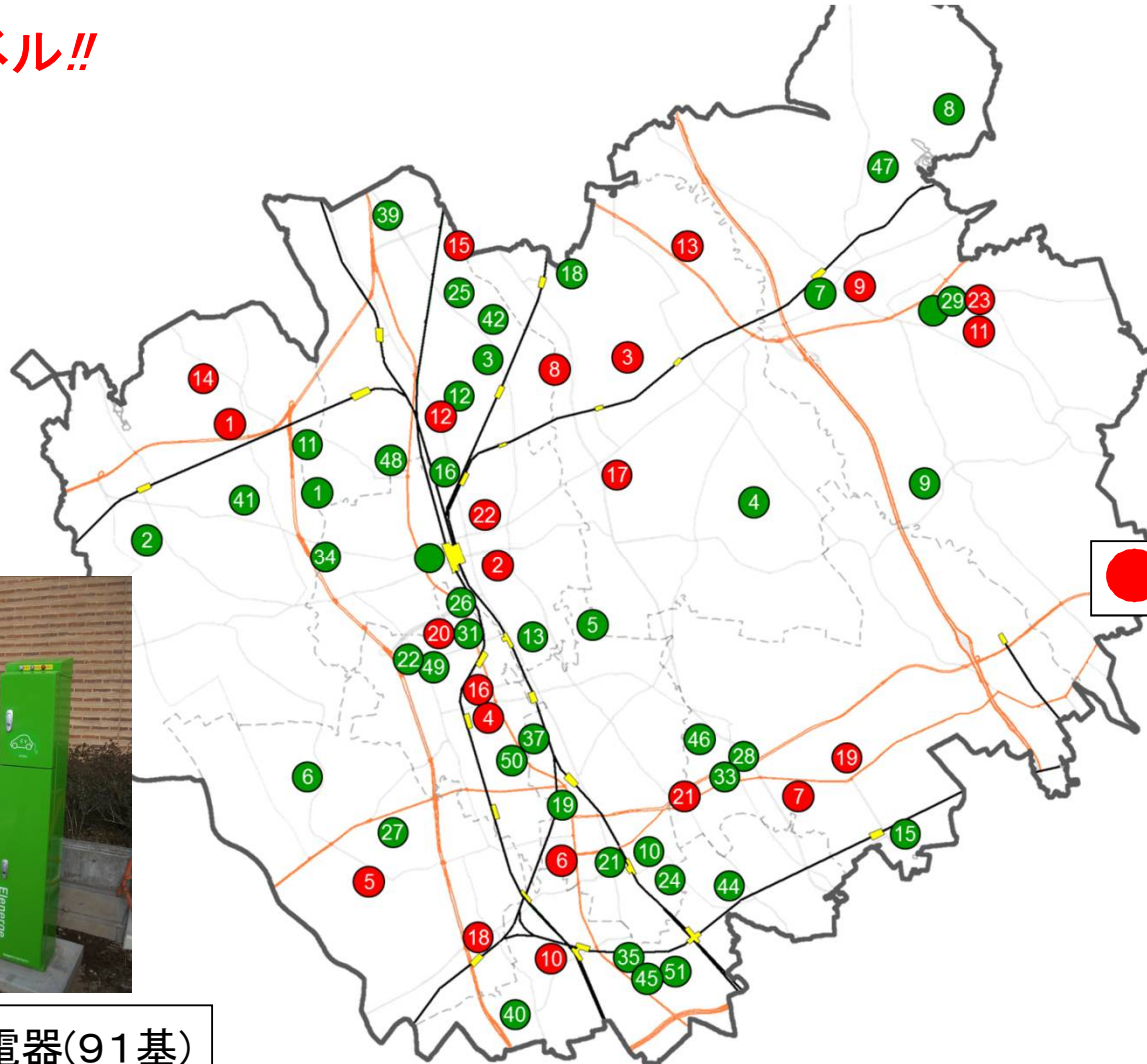
市内四輪自動車経年推移



さいたま市内の充電網

市内合計110か所、142基（2015. 4月現在）

全国トップレベル!!



● 急速充電器(51基)



● 普通充電器(91基)

ハイパーエネルギーステーション



ハイパーエネルギーステーション

災害対応設備

太陽光発電
発電機
蓄電池



停電時も燃料供給可能

ガソリン

軽油

天然ガス

電気

水素



FCVにも対応した、**多様なエネルギーを供給**でき、**災害時も燃料を供給**することが出来る「ハイパーエネルギーステーション」を整備。

運輸部門の低炭素化を促進

災害時も物流・人流を確保

イメージ写真出典：水素供給・利用技術研究組合（HySUT）HP

EV



FCV



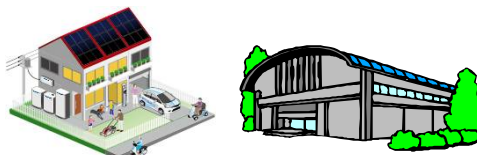
ハイパーエネルギーステーションから
EV・FCVを活用してエネルギー供給



EV

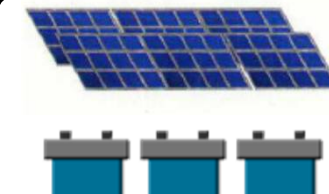


FCV



住宅

公共施設



7

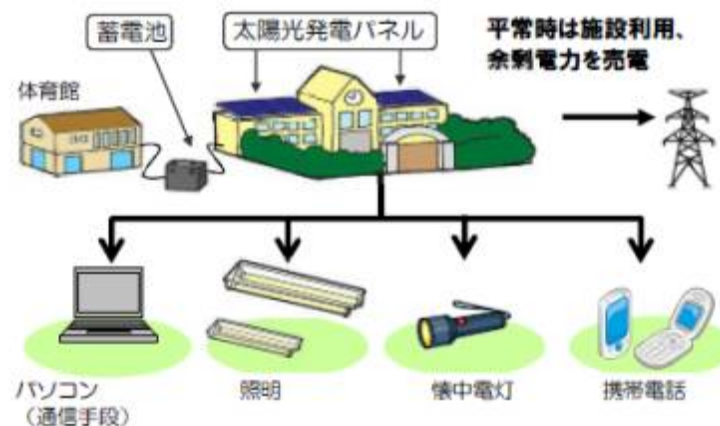
災害時における EV・PHVの電源活用



今よりさらに！「安全・安心」で「快適・便利」な都市へ！！



地域の自立分散型電源（ごみ発電、メガソーラー）



自立分散型電源を備えた避難所（市立学校164校）



EV・PHVで使う or 電源で使う



外部給電装置（HEH55）

超小型モビリティの普及①



HONDA

The Power of Dreams



2013年6月28日
関東運輸局から事業の認定

○2015年度までの3か年
○ホンダ マイクロコンピューター
プロトタイプβ 11台

運輸部門の低炭素化を促進

高齢者の外出機会の確保

回遊性向上による活性化

子育て世代の負担軽減

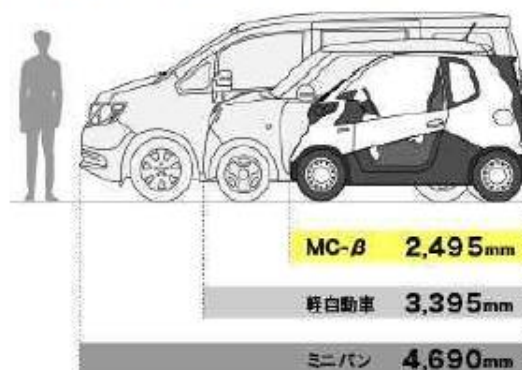
超小型モビリティの普及②

大人2人乗り



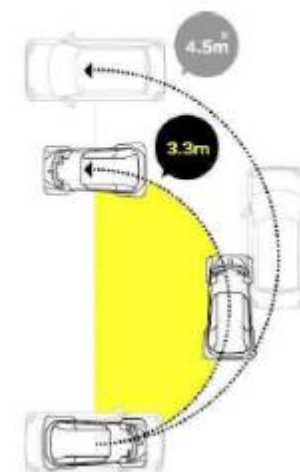
街乗り向きの超小型サイズ

軽自動車よりも全長が約90cm短い



らくらく小回り

最小回転半径が3.3mという
取り回しの良さ



環境にやさしい電気自動車

- AC200V 3時間で満充電、80km走行可能
- 家庭用コンセントで充電可能で、新たに充電スタンドの設置する必要はありません。
- 一般に設置された電気自動車用充電スタンドを使用することが可能。

サイズ(全長×全幅×全高)	2,495×1,280×1,545(mm)
最高速度	70km/h以上
モーター出力	定格6kW/最大11kW
バッテリー	リチウムイオンバッテリー
最大航続走行距離	80km以上
充電時間	3時間以下(200V)
	7時間以下(100V)

しあわせ実感都市 選ばれる都市へ

さいたま市は選ばれる都市となるために
「CS90運動※」を行っています!!

※CS90運動

「さいたま市が住みやすい」と感じる市民の割合をさらに高め、
2020年までに90%以上（2014年80.7%）とする運動

CS(Citizen Satisfaction)

